

校外学習(掩体壕・考古館)

感想

掩体壕を初めて見ました。たくさんの方が協力し、掩体壕を作たと知り、どんなに戦争に力を入れていたのかということも学びました。戦闘機の大きさを知り、子供の生活も学びました。また、杉野さんの話では、仲の良かった人が鹿児島島に行き、「絶対死ぬなよ」といったものの、50日後にはなくなっていたという話を聞きました。今いる友達を大切にしよう、今いることが当たり前ではないと感じました。私は、掩体壕や原爆ドームを残す意味が分かりました。だけど、見学会や授業を通して残す意味が分かったと思います。100年後、1000年後には実際に戦争を体験した人はいないからこそ、建物を通して戦争とつながってほしいと思えるようになりました。原爆が投下されたことは変わらないけど、これからの自分たちは変われるし、戦争について考える機会だと考え、いかしていきたいです。考古館にも初めて行きました。今まで学んできた時代について知れたと思います。また、知らなかった土器や、歴史について学ぶことができました。歴史ある伊台を大切にしていきたいです。